



しらさぎ

目黒区立第八中学校
学校だより NO.24
(通巻68号)
平成27年(2015)
3月16日(月)

『卒業式に向けて』

校長 飯野 博史

20日(金)の「卒業式」が近づきました。卒業式は学校行事の中でも最も重要な儀式的行事の一つです。そこで、先週の生徒会朝礼で卒業式のねらいや目標について生徒に話をしました。

■卒業式のねらい

八中では卒業式のねらいを、以下のとおり4つ定めています。

- (1) 参加者全員で卒業生の中学三年間の全課程の修了と門出を祝い、将来を励ます。
- (2) 卒業にあたり、保護者・教職員・地域や社会の方々に対する感謝の気持ちを新たにします。
- (3) 在校生は卒業を祝福するとともに、伝統を受け継ぎ、校風の発展向上を担うものとしての自覚を育てる。
- (4) 儀式を通して、規律と礼儀正しさを養い、基本のある態度を身に付ける。

まず、卒業式のねらいを一人一人がしっかりと頭に入れ、式や練習に臨むよう指導しました。

■卒業式の目標 心を一つに「統一の美」

「昨年12月、2学年で『マナー講習会』を実施しました。一流ホテルのフロント係で、職員の研修を担当されている方からお話をうかがいました。『制服は個人でするおしゃれとは違います。おしゃれは家に帰ってから個人の責任でするもので、個性が出るものです。制服には個人のおしゃれや個性はありません。みんなが同じものを、同じように着こなすのが制服です。一人でもだらしのない着方をしていたらホテルの信用は失墜します。制服はみんな揃っているところが個性であり、おしゃれと言えます。』というお話でした。学生服、礼の仕方、立ち居振る舞い、歌声など全て揃って統一されているからこそ美しく、見ている人が感動するのです。『統一の美』を追求していきましょう」

卒業式の目標として「統一の美」を掲げました。心を一つに、厳肅な中にも八中らしい和やかな式にしていきます。保護者の皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

■3年生を送る会

12日(木)「卒業生を送る会」を開催しました。生徒会役員が中心となり、1、2年生が3年生へのお祝いと感謝の気持ちを表しました。

E組はキーボードで「RPG」を演奏しました。難しい曲でしたが一生懸命練習し演奏する姿に感動しました。1年生は「今を生きる」、2年生は「ビリーブ」を合唱しました。短い練習期間でしたが完成度の高い合唱でした。

3年生の「思い出スライドショー」に大きな歓声が上がりました。3年間でこんなに成長するものか、と驚くばかりでした。最後は3年生がお礼の気持ちを込めて「道」を合唱しました。さすが3年生、まとまりのある合唱でした。涙を浮かべて歌う生徒の姿も見られました。「心を一つに」卒業式の目標達成に一步近づきました。

■「3. 11を忘れない」講演会 講師：中尾 香さん（第四中学校保護者）

東日本大震災で犠牲になられた方々に黙祷を行った後、「3. 11を忘れない」講演会を開催しました。講師の中尾さんは仙台市出身で、被災地の復興支援ボランティア活動に関わってこられました。震災直後の被災地のスライドを映しながら、被災された方の手記を朗読してくださいました。家族や家を失いながらも、明るく前向きに生きようとする被災地の方々の姿や思いが心に染みいるようでした。命の大切さや日頃からの災害に対する備えなど、たくさんのことを学びました。

震災から4年が経った今、改めて被災地のことを思い、「私たちにできること」を考えさせられる講演会となりました。

生徒の感想文を紹介します。

- ・中尾さんの話を聞いて、津波というものがどれほど恐ろしいものなのかを知ることができました。私たちが感じたことのない恐怖を被災者のみなさんはたくさん感じたかと思うと胸が痛みます。東日本大震災から4年が経ちました。私たちにとってはあっという間の4年間でしたが、被災者のみなさんには長くてつらい4年間なんだと感じました。お話を聞かせてくださって、ありがとうございました。
 - ・震災のあったあの日、慌てて帰ってきた私はテレビをつけて信じがたい光景を目にしました。まるでパニック映画のように波に飲み込まれていく街は、今まさに同じ国の中で起きていることとはとても思えませんでした。しかし、衝撃的な気持ちでさえ、時間とともに薄れていきました。この講演会が終わったとき、私はふと思いました。私は被災地のために何かしたのだろうか、結局私は他人事としてとらえてしまっていたのではないかと。この講演がなければ、そう思うことさえなかったと思います。
3. 11を忘れてはいけない、その気持ちを胸にできることをしていきたい。
- ・お話を聞いて、あの4年前の悲しみを思い出しました。ニュースでは津波の映像が常に流れ、余震が続いた日のこと…。少しずつ私の中で薄れていってしまった感情がよみがえりました。最後に読まれた当時5年生の女の子の作文が、希望に満ちあふれ力強かったので、驚くとともになぜかとても安心しました。これからも忘れずにいたい。

■校内駅伝大会

○ねらい 体力の向上、克己心の形成等、心身を鍛えると同時に、自分の責任を果たし、仲間と力を合わせて襷（たすき）をつなげることで互いの絆を深める。

- ・一人がみんなのために走り、責任をもって次の人に襷をつなぐ。
- ・みんなで一つの襷をつなぎ、チームワークを築く。

○日 時 3月24日（火）1学年…1、2校時 2学年…3、4校時

○場 所 校庭及び学校外周

※ コースの安全確保のため、例年保護者の方に監察係のお手伝いをいただいています。応援を兼ねてよろしくお願いいたします。詳しくは担任まで。

一つの襷を仲間に、そして来年度につなげていきます。

■修了式、春休み

25日（水）は修了式です。しっかりとした態度で臨みましょう。

26日（木）から春休みとなります。新学期、いいスタートがきれるように規則正しい生活に心がけてください。不得意な教科の復習に心がけましょう。

◎生徒の活躍

・目黒区中学校バドミントン研修大会

〈1年男子シングルス〉優 勝

〈2年男子シングルス〉優 勝 ・ 準優勝